

平成22年度当初予算の編成について

1 基本方針

- ・ 財政状況は、更なる大幅な税収減が見込まれるなど、昨年度に引き続き極めて厳しいが、行財政改革を徹底し必要な財源を捻出する。
- ・ そのため、全庁を挙げて歳入確保・経費節減に取り組みつつ、県民目線に立った徹底的な事業の評価・検証を行い、優先順位を明確化することによって、より少ない財源でより大きな成果が得られるよう事業実施の工夫・改善を一層進める。
- ・ 以上により、知事の基本政策実現に向けて必要な政策課題に積極的に対応する。

【基本政策の柱】

県政改革の一層の推進
県民生活の安心・安全の確保
県内経済の活力向上

【編成に当たっての全庁共通の検討テーマ】

景気・雇用対策
群馬のイメージアップ
評価・検証を踏まえた既存事業見直しの徹底
(国の予算変更に伴う対応を含む。)

- (1) 各部局は部長等のリーダーシップと責任により、部局要求を作成する。
- (2) 部局要求に際しての財源配分は次のとおり行う。
 - ・ 一般事業 対前年度比90% (義務的経費等を除く)
 - ・ 公共事業 対前年度比90% (補助公共、単独公共とも)
- (3) 政府予算については、十分な情報収集に努め、できる限り予算へ反映させる。
なお、歳入歳出に大幅な増減が生じた場合には、査定段階で上記財源配分を変更することがある。
- (4) 定員・予算・組織を一体的に見直すとともに、平成20年度の事業評価結果を基にしながら、さらに思い切った事業の縮小・廃止を行う。
- (5) 県民、予算執行現場に近い県民局の地域機関・専門機関の声をよく聞き、現場主義を徹底した効果的な予算を編成する。
- (6) 広告料収入など歳入増加策については、全庁を挙げて取り組む。あわせて、経費節減についても見直しを徹底する。

2 今後の日程(予定)

- ・ 平成21年10月16日 各部局へ予算編成通知
財源配分 各部局において部局要求作成
- ・ 平成21年11月16日 部局要求を財政課へ提出(予算査定開始)
- ・ 平成22年2月中旬までに 知事査定等を経て予算案決定